令和２年度「学校卒業後における障害者の学びの支援に関する実践研究事業」　全体イメージ

事業担当者会議

特別支援学校における学習プログラム開発

さわやかちば県民プラザにおける学習プログラム開発

先行事例視察・研究

取組事例の提供
意見聴取
情報交換

障害者の生涯を通じた学びの充実のためのコンソーシアム

生涯学習、教育、スポーツ、文化、福祉、労働等の関係機関及び障害のある当事者により構成し、先行事例研究等を検証するとともに、各機関と連携を図りながら障害者の生涯学習の充実に向けた取組を検討する。構成員を核とし、ネットワークを生かした多様な主体に向けた普及啓発を図る。

【委員】（予定）○コーディネーター1 人　※障害者の学齢期及び卒業後の学びに知識・経験の豊富な方

○特別支援学校校長会会長
○障害者支援関係団体代表
○千葉県社会福祉協議会代表
○特別支援教育課長
○障害者就業支援機関代表
○生涯学習学識経験者
○障害者スポーツ関係者
○千葉県障害者芸術文化活動支援センター代表
○障害者就労推進企業代表
○公民館長
○障害者福祉推進課長
○当事者　等

取組事例の提供
意見聴取
情報交換

共有　普及

市町村、特別支援学校、大学、関係機関・団体、企業との連携構築

【フォーラムの開催】

○当事者参加型シンポジウム，実践報告
○コンサート等実施による幅広い層への啓発

【各種会議・研修会】

○各種会議や研修会において本事業の取組を発表
○研究成果の全県的な普及
○学習プログラムマニュアルの作成・配布

【成果物作成・配布】

○コンソーシアムやコーディネーターの取組、学習プログラムの実践・普及啓発等の取組と今後の方向性について

今後の展望

支援相談窓口としての機能の構成

各種関係機関・団体，企業（教育ＣＳＲ）とのネットワークの構築により学習相談窓口としての機能を構成

学びの場

人材育成

つながりづくり

県内全域における障害者の学びの場の拡大
担い手の育成

共生社会の実現